

太良町の特徴や誇れるもの

所在地: 藤津郡太良町大字多良1番地6

連絡先: 0954-67-0317

学校数: 小学校 2校、中学校 2校

- ・太良町は町内のほぼどこからでも有明海を望むことができ、有明海の干満の差が実感できるところから、「月の引力が見えるまち」をキャッチフレーズとしている。
- ・自然豊かな太良町は農林水産業が盛んで、山間部には、杉やヒノキが植林されている。丘陵地ではみかんの生産や畜産が行われており、平野部では施設園芸でのイチゴや花の栽培も盛んである。有明海では「竹崎カニ」や「竹崎カキ」が水揚げされている。タイラギの激減で休漁が続いているが、伝統漁法の潜水タイラギ漁などでも知られている。
- ・竹崎観世音寺の鬼祭は国指定重要無形民俗文化財、川原狂言は無形民俗文化財、糸岐獅子浮立ほか地域の祭りも伝承されている。
- ・学校地域連携コーディネーターを配置し、学校と地域をつなぎ、地域との連携を強化した学習を展開している。
- ・佐賀県初の女性教師となり、その後、社会教育に尽力した中野萬亀(太良町伊福)の功績に着目し、教材化を進めている。

多良中学校の取組

【多良岳登山】

○1年生は、多良岳登山を体験します。目的は「①地元を愛し、大切にすることを育む」「②みんなで登山を行うことで仲間意識や自然、他人を思いやる気持ちを高める」「③町の登山愛好家の方や保護者の方と一緒に登山をすることで、地域や家族との絆を深める」です。登山愛好家の方を講師に迎えての事前学習会や多良岳についての調べ学習、当日の登山を通して、多良岳について詳しく知り、太良町の良さを認識するよいきっかけとなっています。

○生徒の感想

「登山はとてもきつかったけれど、座禅岩から見下ろした景色はとてもきれいで疲れが吹き飛びました。実行委員の仕事は大変なことや緊張することもあったけれど、仲間と協力することの大切さや多良岳の自然の豊かさを学ぶことができました。また機会があれば家族と一緒に登り、太良町の素晴らしさを共有したいです。」



【金泉寺にて】

大浦中学校の取組

【行事食・郷土料理作り】

○毎年、家庭科の調理実習で行事食・郷土料理を作ります。今年は「紅白なます」「さつまいもの茶巾絞り」「のっぺい汁」の3種類を作りました。今回の調理実習では、地域の方々にも参加していただき、野菜の切り方や調理の仕方などを細かく教えていただきました。楽しく会話しながら調理しました。

このように、地域の方々と一緒に郷土の料理を作ることで、自分たちが生まれた地域を愛し大切にすることを育んでいます。



多良小学校の取組

【昔遊び】

○1・2年生では、毎年生活科の学習活動で昔遊びを行っています。この学習は、地域の老人クラブや民生委員の方々、及び様々なボランティアグループの皆様方の支えで、17年目になります。こま回しや羽根つき、かざぐるまに凧あげ、お手玉にあやとり、竹とんぼ、けん玉など様々な遊びを用意して子どもたちを迎え、手作りの道具を用意して来てくださる方もいらっしゃいます。

子どもたちは地域の方々のすごい技を見て、話を聞いて、目を輝かせながら遊びに夢中になり、ボランティアの方々とは子どもたちと交流することで、学校を身近に感じていただき、毎回「楽しかった。また来るよ。」と笑顔で帰って行かれています。この活動のおかげでお互いを知り、笑顔であいさつできる人が増え、地域と学校、子どもたちのつながりが深まっています。



【植樹体験】

○5年生では、社会科及び総合的な学習の一つとして植樹体験活動を行っています。これも十数年にわたり続いている活動です。この活動は、多良岳200年の森事業の一環として、町の農林水産課や森林組合の協力を得て行われています。子どもたちは、手順を教えられながら、サガンスギを中心に様々な木々を一人2～3本ずつ植えていきます。

200年という遠い未来に大きく成長した木々を思い浮かべながら、気持ちを込めて優しい笑顔で植えていく子どもたちの姿に、確かに豊かな心も育まれていると感じます。

大浦小学校の取組

【田古里川の水生物調査】

○4年生では、総合的な学習の時間に佐賀県環境サポーターさんに講師として来ていただき、地球温暖化対策講座を実施しました。

子どもたちは、大浦小校区を流れる田古里川で捕まえた生き物の種類分けを行った結果、「田古里川はタニシ類が多いので水質はややきれいである」ということが分かりました。また、近年地球温暖化が進んで水温が高くなることで川に生息する生き物が少なくなっているという話を聞きました。

子どもたちは、実際に身近な自然に触れ合いながら学習を行うことで、川に生息する生き物のことや地球温暖化のことを、自分のこととして考えていかなければいけないということを実感しました。



【漁業体験学習】

○5年生では、総合的な学習の時間に大浦漁協青年部の方に協力をしていただき、漁業体験学習を実施しました。子どもたちは、有明海に住んでいる魚を見たり、漁で使用する潜水服を試着したりしました。また、伝統的な漁業法である投網の体験をしました。

この貴重な体験を通して、子どもたちは有明海で働く人々のすごさや有明海に対する思いを感じることができました。そして、この経験が身近にある有明海を守っていくためにどんなことができるのかを考えるきっかけとなりました。

